



菊池 民彌 議員  
(新興会)

## 民話のふるさと遠野から 児童虐待をなくそう

一括質問  
方式

**問** 東北横断自動車道の宮守、東和間の開通が、本市の発展にどんな意義をもたらしたのか。また、本自動車道利用に懸ける本市の産業の柱を何にするのか。

**答** 期待される効果として、防災力の強化、産業振興、救急医療体制拡充への貢献が期待できる。この横断道により、内陸と沿岸部の農産物や、工業製品の出荷等物流の活発化と、多様な物流のネットワークの形成、観光による交流人口拡大が

図られる。沿岸部や、近隣市町からの物流を中継するハブ機能の保持が大切と考える。企業誘致や、内発型産業の育成による産業と雇用の集積も大切と思う。

**問** 中学校再編による空き校舎となる校舎の利活用については、利活用計画がまとまっているものか。利活用未定の場合、どんな方法で利活用方針を示すのか。私案として、校庭と体育館は各地域の総合型地域スポーツクラブの利用を、教室は各種団体の拠り所として開放することや、以前にも触れたことのある博物館の分館の利用を図るとともに、観光の用に供してはどうか。

**答** 中学校再編後の施設跡地の活用は、地域と協働し

ながら地域を活かす方策を検討する。校庭・体育館は、地域のスポーツ活動等に活用できるよう、年度内に進める。議員の私案については、地域づくりに基づく活用策の一案として、今後の検討に当たっての参考とさせていただきます。

**問** 児童虐待相については、本市の実態がどのような傾向にあるのか。防止にあたっての組織体制と関係機関、団体の連携と、今後の防止対策の取り組みをどうするか。

**答** 児童虐待相談の状況は、平成22年度21件、同23年度24件と微増。県福祉総合相談センターへの一時保護及び長期施設入所は、平成22年度3人、同23年度4人という状況。遠野市要保護対策地域協議会を設置し、会議を開催し、情報共有と個別ケース検討会を開いて対応している。

虐待防止のPRと、わらすつこ条例で保障される子どもの権利を守るため、関係機関団体と連携を図り、防止に取り組む。



今年度開催された要保護児童対策地域協議会

## 中学校再編成に伴う 空き校舎の活用策は

※ハブとは…  
ハブ (英: hub、  
拠点のこと)